

人権デュー・ディリジェンス 入門から実践まで

企業価値を創造する企業経営のために

11月1日(金)・7日(木) 開催

※後日アーカイブ配信あり



講師

福原 あゆみ 氏

セミナーの狙い

経営課題としての「ビジネスと人権」の重要性は近年急速に高まっており、企業の人権配慮への取り組みは顧客との関係や投資家からの評価でも重要視されつつあります。グローバルでの法規制の流れとしても、今年5月にEUで大企業に広範な人権・環境デュー・ディリジェンスを義務付けるCSDDD（企業持続性デュー・ディリジェンス指令）が採択されるなど、企業が大きな転換点に置かれているといえます。一方で、どのような範囲で人権デュー・ディリジェンスを行うべきか、自社のサプライチェーンの管理をどこまで進めるべきかといった点については多くの日本企業の課題となっています。本セミナーでは、具体的な取組例やリスク事例を踏まえながら、企業が取り組むべき内容や求められる視点について紹介させていただきます。

開催概要

日時	第1回 11月1日(金) 14:00~15:30 第2回 11月7日(木) 14:00~15:30 <アーカイブ配信> 11月12日(火)~2025年7月31日(木)	会場	東京金融ビレッジ 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-7 大手町フィナンシャルシティ サウスタワー5階
開催形態	ハイブリッド（会場参加・ライブ配信） +アーカイブ配信	受講料	会 員：無料 ※法人会員は一口3名まで無料、 超過した場合 超過人数1名あたり各回5,000円（税込） 非会員：各回15,000円(税込) ※ご入金後のキャンセルの場合、受講料の返金は致しかねますので予めご了承ください。 なお、他セミナーへの振替受講は可能ですので、ご相談ください。
申込期限	<ハイブリッド> 各回開催日の3営業日前まで <アーカイブ配信> 2025年4月30日（水）		



プログラム

第1回

11月1日(金)
14:00~15:30

「人権デュー・ディリジェンスの実践に向けて」

- ・「ビジネスと人権」に関するグローバルの潮流
 - ビジネスと人権を巡る法制化・規制強化の動き
 - CSDDDの概要
- ・企業に求められる人権尊重の取り組み
- ・人権デュー・ディリジェンスの実践事例
- ・人権デュー・ディリジェンスに関する企業の課題

第2回

11月7日(木)
14:00~15:30

「人権を軸にしたサプライチェーン・マネジメント」

- ・人権侵害を根拠とした輸入規制の動き（米国関税法やUFLPA等）とその執行動向
- ・開示・広告に関連する論点
- ・AI倫理に関する論点
- ・人権リスクに直面した場合に求められる対応
- ・人権侵害に起因する訴訟・紛争への対応

講師

福原 あゆみ 氏（長島・大野・常松法律事務所 パートナー）

<略歴>

法務省及び検察庁での経験を活かし、企業の危機管理及びグローバル調査を主な業務分野としている。国内外の規制当局が関与するクロスボーダーの複雑な調査を取り扱うほか、ビジネスと人権（BHR）に関するアドバイスをはじめとするコンプライアンス体制構築の支援も多数行っている。経済産業省「サプライチェーンにおける人権尊重のためのガイドライン検討会」委員（2022年）。主な著書に『基礎からわかる「ビジネスと人権」の法務』（中央経済社）。日本経済新聞社の2023年「企業法務・税務・弁護士調査」のビジネスと人権分野にて第2位に選出（企業選出・総合選出）。

アーカイブについて

- ・ 会場参加・ライブ配信お申込みの方は**アーカイブ配信もセット**でご受講いただけます。
- ・ 配信開始日の午前0時から、**アーカイブ配信システム（Leaf）上のマイページ**よりご視聴いただけます。
- ・ 配信開始後にお申込みいただいた方は、登録手続きが完了次第順次ご視聴いただけるようになります。
- ・ 配信期間の延長は原則ございません。配信期間内にご視聴いただくよう、ご協力をお願いいたします。

その他、利用方法詳細はWebサイトをご確認ください。

申込方法

以下のURLあるいは右のQRコードよりお申込みください。

https://jfael.or.jp/practical/seminar/humanrightsdd_2024

※お申込時にご記入いただいた個人情報は厳密に管理し、当法人の教育プログラムのご案内、及び企画・開発のためにのみ使用いたします。

